

# 琉球大学学術リポジトリ

## 資料等

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学大学教育センター 公開日: 2021-12-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/41367">http://hdl.handle.net/20.500.12000/41367</a>

平成 24 年度 大学教育センターFD・SD一覧

プログラム名	対象者	開催日時	参加者数	概要
① 授業技法ワークショップ 「授業におけるラーニング・ポートフォリオの導入」	本学教職員, 関心のある 学生	平成 24 年 7 月 6 日 (金) 13:30~16:30	30名	「ラーニング・ポートフォリオ」をテーマとした授業技法ワークショップ。学生による学習の「ふりかえり」とこれを証拠資料で裏づける「ラーニング・ポートフォリオ」を伝統的な授業方法と成績評価方法に加える新たな手法等について、実際の授業例をもとに説明された。  講師：土持・ゲーリー・法一氏（帝京大学 高等教育開発センター 教授）
② 講演会「デジタル・アーキビズー開発研究と人材養成」 ※総合情報処理センター共催	本学教職員, 関心のある 学生	平成 24 年 8 月 10 日 (金) 15:00~17:00	50名	デジタルアーカイブとは、博物館・図書館・公文書館等が保有する、有形無形の文化的資源をデジタル化して保有し、インターネットによる資料の公開や活用を行う仕組みのことをいう。本講演では、デジタルアーカイブを推進するデジタル化技術の専門職としてのデジタルアーキビストについて、研究開発や人材育成の観点から現状や今後の展望について解説された。  講演者：喜多 恵氏（岐阜女子大学 研究員）
③ 講演会「全学共通情報教育ー文理融合型の情報教育ー」 ※総合情報処理センター共催	本学教職員, 関心のある 学生	平成 24 年 9 月 21 日 (金) 15:00~17:00	42名	今後、各界の最先端で活躍することが求められている大学院生は、その専門分野を問わず、情報リテラシーやコンピテンシーの素養を身に付けることを要請されている。このような問題意識から、京都大学情報学研究科附属情報教育推進センターでは大学院の全学共通情報教育という視点から「どのようなカリキュラムが必要であるか」、「どのような教育情報環境がカリキュラム遂行に必要であるか」等について検討がなされている。本講演では、文理融合情報教育を中心に全学的情報リテラシー教育の先進事例について紹介された。  講演者：稲葉 利江子氏（京都大学情報教育推進センター 特定講師）
④ URGCC（琉大グローバルシティズン・カリキュラム）及び共通教育等科目のシラバス作成に関する説明会について	共通教育等科目を担当している専任教員、非常勤講師及び共通教育等科目の編成担当教員	①3月5日(火) 10:00~11:30 ②3月7日(木) 13:00~14:30  ※上記①、②の日程のどちらか一方に出席	36名	平成 24 年度の URGCC 導入に伴いシラバスの一部に記載形式の変更が必要となったことから、URGCC および具体的なシラバス作成方法、シラバス作成の現況について説明を行った。昨年度に引き続き開催された。

プログラム名	対象者	開催日時	参加者数	概要
⑤ 学務担当者連絡会	各学部学務担当者, 教務課・学生課・総務課職員	①5月25日(金) ②7月27日(金) ③10月26日(金) ④12月27日(木)  ※いずれの回も10:00~	20名 (各回で変動有り)	各部局における学務に関わる職員との認識を共有するべく, 連絡調整や情報交換を定期的に行った。
⑥ 全学学士教育プログラム委員会	学士教育プログラム代表者(委員), 教務課長, 教務課長代理, URGCC推進支援室スタッフほか	定例開催による毎月第一水曜14:40~16:10(全10回開催) ※4月, 1月は日程変更有り ※5月, 8月は不開催	39名 (各回で変動有り)	URGCC導入一年目である本年度は, 全学的な学士課程教育の質保証と充実を目指し, 主として以下の4つの課題に取り組んだ。  1. 学習教育目標の達成に向けた「DP-CP対応関係」ワークシートの作成。 2. URGCC及び学士教育プログラムについて説明する小冊子『URGCC 琉球大学 学士教育プログラム(平成25年度版)』の作成 3. 初年次教育に関する実践の報告 4. ラーニング・ポートフォリオを用いた達成度評価の試行(一部の教員のみ)